

第 3 編

工業用 水道事業

◎全国の工業用水道事業者数

	R 4 年度	R 3 年度	増減
都道府県営	39	39	0
指定都市営	9	9	0
市営	76	78	△ 2
町村営	17	17	0
企業団営	10	10	0
計	151	153	△ 2

- | | | |
|---|-------|------|
| 1 | 事業の沿革 | P 68 |
| 2 | 施設の概要 | P 69 |
| 3 | 事業の概要 | P 70 |
| 4 | 財務の状況 | P 71 |

第3編 工業用水道事業

1 事業の沿革

(1) 沿革

年	月	日	主 要 事 項
平成	2.	3.	森本丘陵工業用地開発基本構想を策定
	3.	3.	〃 開発基本計画を策定
	4.	3.	〃 土地区画整理事業の認可
	〃	〃	第1工区の開発造成に着手
	5.	7. 29	工業用水道計画調査を開始
	6.	3. 15	〃 完了
	7.	3. 31	工業用水道事業届出を通産省へ提出
	〃	5. 8	工業用水道事業施設基準の適合認可
	8.	1. 10	浄水場及び配水場用地の取得完了
	〃	3. 25	浄水場管理棟築造
	〃	5. 10	導水ポンプ場及び導水管路用地の取得完了
	〃	12. 26	下涌波導水ポンプ場築造
	9.	3. 3	工業用水道事業の料金設定を通産省へ申請
	〃	3. 11	工業用水道事業料金設定の承認通知
	〃	3. 24	給水開始届出を通産省へ提出
	〃	4. 1	一部給水開始
	〃	5. 14	給水開始（責任水量 200m ³ /日）
	10.	9. 22	台風7号による集中豪雨で涌波川氾濫、浄水場浸水
	11.	5. 28	浸水対策として輪中方式のコンクリート擁壁完成
	13.	10. 31	第2工区内配水管布設完了
	14.	3. 29	第3工区内配水管布設完了
	17.	10. 26	第2工区内給水開始
	27.	12. 24	企業局総合防災計画策定

(2) 工業用水道事業の計画概要と工事進捗状況

金沢市工業用水道事業は、本市産業の多角化・高度化を目指して、先端産業等の集積拠点として整備中の金沢テクノパークに、安定かつ良質な工業用水を供給するための事業である。

その水源として、涌波川支川表流水及び月浦町溜池の貯留水を取水し、ポンプ圧送により浄水施設に導水し、浄水処理後、さらにポンプにより配水池に送水して、自然流下で各企業に3,100m³/日の工業用水を供給する計画である。

これまでの間、涌波川支川を水源とした、1,700m³/日の給水能力を有する施設を建設し、事業を進めてきている。平成7年度～8年度にかけて取水地点から浄水場に至るまでの施設設備として、取水ぜき、導水ポンプ場、導水管1,059m、浄水場（一部設備を除く）の工事を完了した。またこれらと併行して送水管1,742m、配水池、配水管1,236mの工事を完了し、平成9年4月より第1工区内への給水を開始した。平成9年度には浄水場の中央監視制御、自家発電設備工事を施工するとともに、配水管589mの工事を完了した。平成13年度には配水管1,514mの工事を完了した。平成17年10月より第2工区内への給水を開始した。

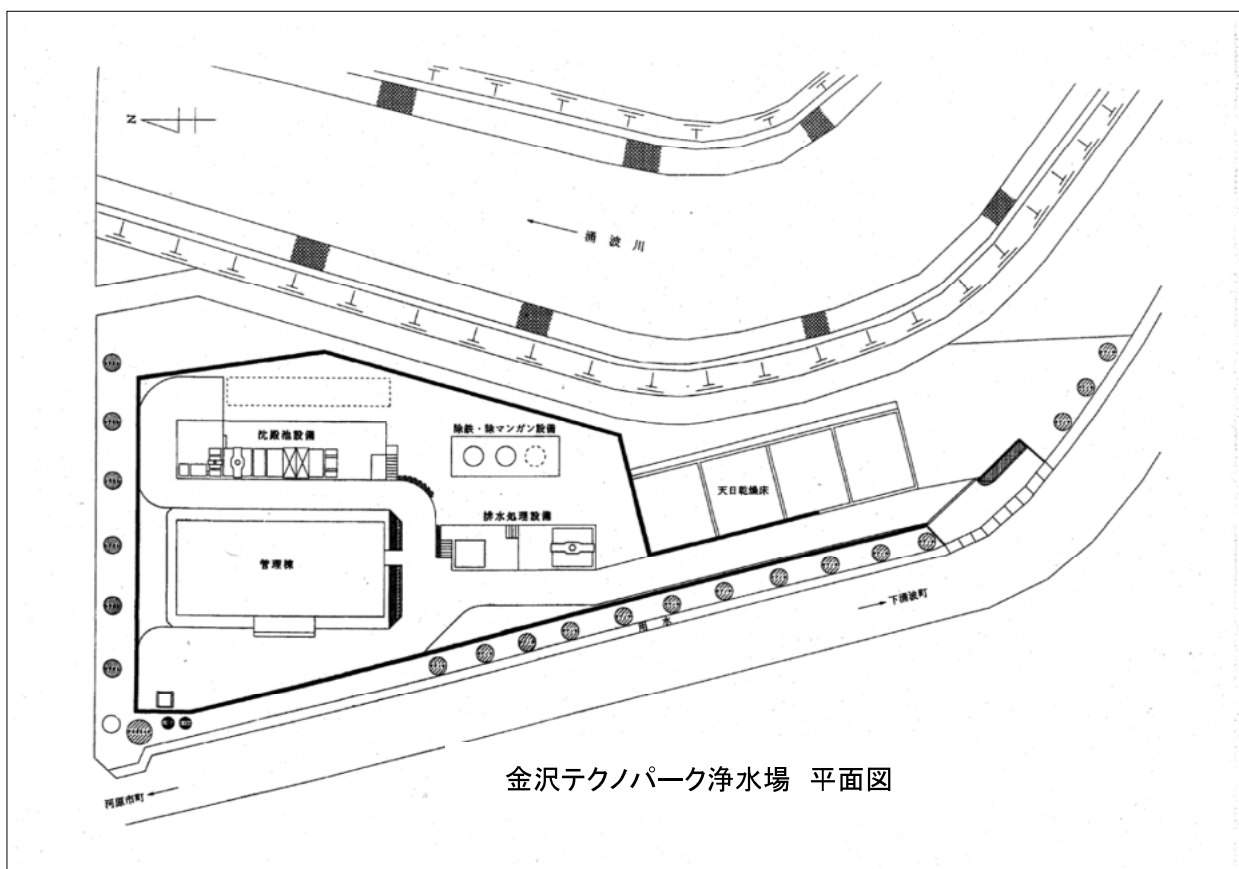
2 施設の概要

1 所在地	金沢市北陽台3丁目31番地
2 敷地面積	3,862.19 m ²
3 竣工	平成9年4月（一部給水開始）
4 能力	1,700 m ³ /日
5 配水方法	自然流下

種別	工種	内容	数量
取水施設	涌波川支川取水堰	コンクリート堰（スクリーン式）	1箇所
導水施設	導水ポンプ	$\phi 80\text{mm} \times \phi 65\text{mm} \times 1.27\text{m}^3/\text{分} \times 26\text{m} \times 11\text{kW}$	2台
	導水ポンプ場	ポンプ室、ポンプ井、発電機室 RC造、延床面積 106m ²	
	導水ポンプ井	長 6.4m × 幅 2.4m × 深 3.3m = 50.7m ³ /池	2池
	導水管	VU $\phi 250\text{mm}$ 310m DIP $\phi 150\text{mm}$ 749m	計 1,059m
浄水施設	着水井	長 3.2m × 幅 1.5m × 深 3.4m = 16.3m ³	1池
	混和池	機械攪拌式 長 3.1m × 幅 1.5m × 深 3.1m = 14.4m ³	1池
	フロック形成池	フロキュレーター式 長 3.5m × 幅 3.5m × 深 3.0m = 36.8m ³	1池
	薬品沈澱池	横流式傾斜板等沈降装置付 長 8.5m × 幅 3.5m × 深 3.3m = 98.2m ³	1池
	除鉄・除マンガン設備	圧力式ろ過機 70m ³ /(h・基) $\phi 2.8\text{m}$	2基
	薬品注入設備	使用薬品：水道用ポリ塩化アルミニウム 次亜塩素酸ナトリウム、苛性ソーダ	
	浄水池	長 6.9m × 幅 5.5m × 深 3.2m = 121m ³ /池	2池
	管理棟	薬注室、電気室、発電機室、監視室、送水ポンプ室 水質試験室 RC造、延床面積 479m ²	
排水処理施設	調整施設	排泥池 長 3.0m × 幅 2.0m × 深 3.0m = 18.0m ³ 排水池 長 5.0m × 幅 5.0m × 深 3.0m = 75.0m ³	1池 1池
	濃縮施設	濃縮槽 長 5.0m × 幅 5.0m × 深 4.5m = 113m ³	1槽
	脱水施設	天日乾燥床 長 9.0m × 幅 8.7m × 深 0.7m = 54.8m ³ /池	4床
	送水施設	送水ポンプ $\phi 125\text{mm} \times \phi 125\text{mm} \times 1.08\text{m}^3/\text{分} \times 110\text{m} \times 37\text{kW}$ 送水管 DIP $\phi 250\text{mm}$ 1,742m	2台 計 1,742m
配水施設	配水池	長 11.0m × 幅 4.0m × 深 3.0m = 132m ³ /池	2池
	配水管	DIP $\phi 250\text{mm}$ 627m $\phi 200\text{mm}$ 1,212m $\phi 150\text{mm}$ 157m $\phi 100\text{mm}$ 783m $\phi 75\text{mm}$ 35m 鋼管 $\phi 200\text{mm}$ 266m SUS $\phi 100\text{mm}$ 259m	計 3,339m

3 事業の概要

項目		年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
給水先事業所数 (所)			5	5	5	5
一日最大配水量 (m ³ /日)			1,136	869	803	806
一日平均配水量 (m ³ /日)			667	651	654	661
配水量 (m ³ /年)			243,430	237,498	238,710	241,083
有収水量 (m ³ /年)			243,430	237,498	238,710	241,083
無収水量 (m ³ /年)			0	0	0	0
無効水量 (m ³ /年)			0	0	0	0
給水量	契約給水量 (m ³ /年)		239,075	239,075	239,075	240,385
	実給水量 (m ³ /年)		243,430	237,498	238,710	241,083
	給水率 (%)		101.8	99.3	99.8	100.3



4 財務の状況

(1) 財務状況の推移

ア 収益的収入及び支出(消費税抜き)

(単位：円)

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 益 的 収 支	事業収益(A)	45,645,832	45,827,165	43,664,678	56,407,149
	給水収益	12,594,825	12,343,905	12,363,255	12,894,255
	営業外収益	27,611,956	33,483,260	31,301,423	37,200,389
	その他	5,439,051	—	—	6,312,505
	事業費用(B)	45,645,832	45,827,165	43,664,678	56,407,149
	人件費	8,541,241	8,554,926	7,414,478	7,463,557
	支払利息	1,771,842	1,190,726	792,936	518,870
	減価償却費	15,263,743	15,263,743	15,124,618	15,084,868
	動力費	4,459,419	4,683,504	5,651,116	6,178,677
	修繕費	5,093,214	4,680,539	3,002,480	4,394,550
	薬品費	1,481,600	1,607,800	1,139,200	1,254,600
	その他	9,034,773	9,845,927	10,539,850	21,512,027
	差引(A) - (B)	0	0	0	0

(注) 人件費には、児童手当を含む。

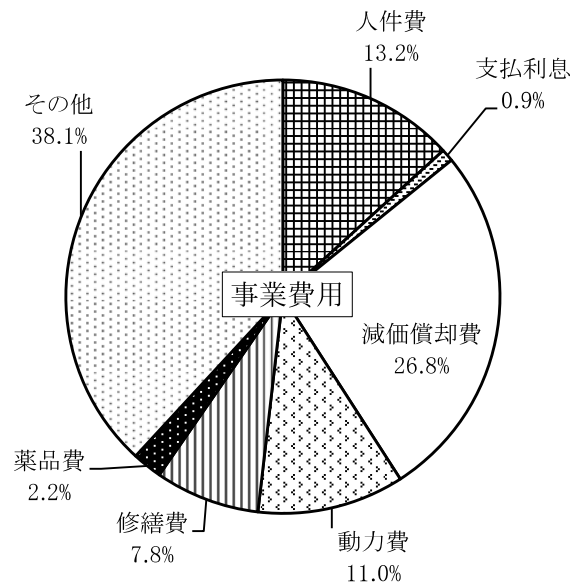
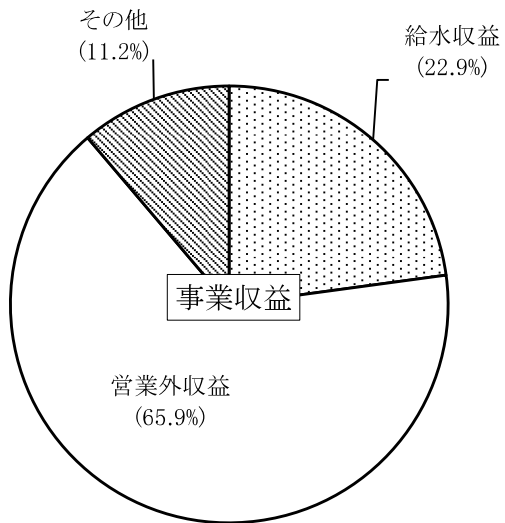
イ 資本的収入及び支出(消費税込み)

(単位：円)

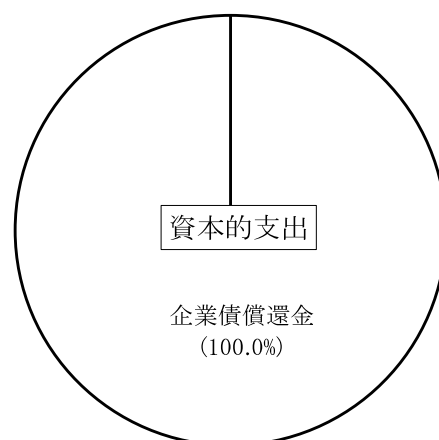
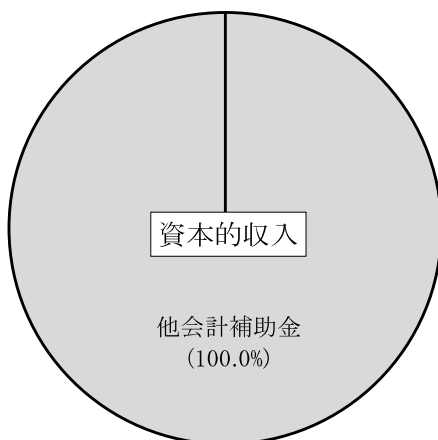
区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
資 本 的 収 支	資本的収入(C)	18,248,142	13,548,332	8,908,369	9,128,544
	企業債	—	—	—	—
	国庫補助金	—	—	—	—
	他会計補助金	18,248,142	13,548,332	8,908,369	9,128,544
	資本的支出(D)	22,810,178	16,935,415	11,135,462	11,410,680
	建設改良費	—	—	—	—
	企業債償還金	22,810,178	16,935,415	11,135,462	11,410,680
その他	—	—	—	—	
差引(C) - (D)	△ 4,562,036	△ 3,387,083	△ 2,227,093	△ 2,282,136	

令和5年度工業用水道事業財務状況構成図

収益的収支



資本的収支



(2) 損益計算書比較

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
事業収益	45,645,832	100.0	45,827,165	100.0	43,664,678	100.0	56,407,149	100.0
営業収益	12,594,825	27.6	12,343,905	26.9	12,363,255	28.3	12,894,255	22.9
給水収益	12,594,825	27.6	12,343,905	26.9	12,363,255	28.3	12,894,255	22.9
営業外収益	27,611,956	60.4	33,483,260	73.1	31,301,423	71.7	37,200,389	65.9
受取利息及び配当金	59,345	0.1	34,415	0.1	17,224	0.0	34,932	0.0
他会計補助金	12,404,963	27.2	18,319,512	40.0	16,153,459	37.0	21,975,702	39.0
長期前受金戻入	14,263,443	31.2	14,263,443	31.1	14,263,443	32.7	14,263,444	25.3
雑収益	884,205	1.9	865,890	1.9	867,297	2.0	926,311	1.6
特別利益	5,439,051	11.9	—	—	—	—	6,312,505	11.2
固定資産売却益	—	—	—	—	—	—	—	—
その他特別利益	5,439,051	11.9	—	—	—	—	6,312,505	11.2
事業費用	45,645,832	100.0	45,827,165	100.0	43,664,678	100.0	56,407,149	100.0
営業費用	42,809,016	93.8	43,313,943	94.6	41,396,817	94.8	43,223,165	76.7
原水及び浄水費	18,378,238	40.3	18,781,459	41.0	16,888,902	38.7	19,969,755	35.4
配水及び給水費	183,133	0.4	350,523	0.8	941,851	2.2	192,038	0.3
総係費	8,888,902	19.5	8,918,218	19.5	8,441,446	19.3	7,976,504	14.2
減価償却費	15,263,743	33.4	15,263,743	33.3	15,124,618	34.6	15,084,868	26.8
資産減耗費	95,000	0.2	—	—	—	—	—	—
営業外費用	2,836,816	6.2	2,513,222	5.5	2,267,861	5.2	2,163,512	3.8
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,771,842	3.9	1,190,726	2.6	792,936	1.8	518,870	0.9
繰延勘定償却	—	—	—	—	—	—	—	—
貸倒償却	—	—	—	—	—	—	—	—
雑支出	1,064,974	2.3	1,322,496	2.9	1,474,925	3.4	1,644,642	2.9
特別損失	—	—	—	—	—	—	11,020,472	19.5
その他特別損失	—	—	—	—	—	—	11,020,472	19.5
当年度純利益	—	—	—	—	—	—	—	—
前年度繰越利益剰余金 又は前年度繰越欠損金	—	—	—	—	—	—	—	—
その他未処分利益 剰余金変動額	—	—	—	—	—	—	—	—
当年度未処分利益剰余金 又は当年度未処理欠損金	—	—	—	—	—	—	—	—

(3) 貸借対照表比較
資産の部

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
固 定 資 産	円 422,027,742	% 66.8	円 406,763,999	% 66.5	円 391,639,381	% 65.8	円 365,534,041	% 63.4
有形固定資産	422,027,742	66.8	406,763,999	66.5	391,639,381	65.8	365,534,041	63.4
土地	40,545,152	6.4	40,545,152	6.6	40,545,152	6.8	40,545,152	7.0
建物	88,373,176	14.0	83,544,149	13.7	78,715,122	13.2	73,886,095	12.8
構築物	256,163,818	40.6	245,937,137	40.2	235,710,456	39.6	225,483,775	39.1
機械及び装置	36,583,541	5.8	36,583,541	6.0	36,583,541	6.2	25,563,069	4.5
車両運搬具	258,375	0.0	79,500	0.0	39,750	0.0	39,750	0.0
工具器具備品	103,680	0.0	74,520	0.0	45,360	0.0	16,200	0.0
建設仮勘定	—	—	—	—	—	—	—	—
無形固定資産	—	—	—	—	—	—	—	—
電話加入権	—	—	—	—	—	—	—	—
施設利用権	—	—	—	—	—	—	—	—
その他無形固定資産	—	—	—	—	—	—	—	—
投資その他の資産	—	—	—	—	—	—	—	—
投資有価証券	—	—	—	—	—	—	—	—
流 動 資 産	209,244,401	33.2	204,703,429	33.5	203,301,243	34.2	210,917,753	36.6
現金・預金	208,131,727	33.0	203,511,964	33.3	202,187,922	34.0	209,784,583	36.4
未収金	1,112,674	0.2	1,191,465	0.2	1,113,321	0.2	1,133,170	0.2
資 産 合 計	631,272,143	100.0	611,467,428	100.0	594,940,624	100.0	576,451,794	100.0

負債及び資本の部

区 分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率	金額	構成比率
固 定 負 債	円 45,713,912	% 7.2	円 33,403,429	% 5.5	円 22,330,149	% 3.8	円 13,994,873	% 2.4
企業債	36,582,035	5.8	25,446,573	4.2	14,035,893	2.4	5,163,071	0.9
建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,582,035	5.8	25,446,573	4.2	14,035,893	2.4	5,163,071	0.9
引当金	9,131,877	1.4	7,956,856	1.3	8,294,256	1.4	8,831,802	1.5
退職給付引当金	9,131,877	1.4	7,956,856	1.3	8,294,256	1.4	8,831,802	1.5
流 動 負 債	28,602,079	4.6	22,440,694	3.6	22,750,164	3.8	24,461,982	4.3
企業債	16,935,415	2.7	11,135,462	1.8	11,410,680	1.9	8,872,822	1.6
建設改良費等の財源に充てるための企業債	16,935,415	2.7	11,135,462	1.8	11,410,680	1.9	8,872,822	1.6
未払金	5,006,579	0.9	4,067,153	0.6	4,155,994	0.7	6,181,115	1.1
未払費用	67,586	0.0	1,732,865	0.3	35,013	0.0	24,877	0.0
引当金	703,000	0.1	697,000	0.1	673,000	0.1	702,000	0.1
賞与等引当金	703,000	0.1	697,000	0.1	673,000	0.1	702,000	0.1
その他流動負債	5,889,499	0.9	4,808,214	0.8	6,475,477	1.1	8,681,168	1.5
繰 延 収 益	310,685,356	49.2	309,352,509	50.6	303,589,515	51.0	291,724,143	50.6
長期前受金	310,685,356	49.2	309,352,509	50.6	303,589,515	51.0	291,724,143	50.6
資 本 金	207,153,048	32.8	207,153,048	33.9	207,153,048	34.8	207,153,048	35.9
資本金	207,153,048	32.8	207,153,048	33.9	207,153,048	34.8	207,153,048	35.9
剰 余 金	39,117,748	6.2	39,117,748	6.4	39,117,748	6.6	39,117,748	6.8
資本剰余金	39,117,748	6.2	39,117,748	6.4	39,117,748	6.6	39,117,748	6.8
受贈財産評価額	—	—	—	—	—	—	—	—
補助金	39,117,748	6.2	39,117,748	6.4	39,117,748	6.6	39,117,748	6.8
利益剰余金	—	—	—	—	—	—	—	—
当年度未処分利益剰余金	—	—	—	—	—	—	—	—
負債・資本合計	631,272,143	100.0	611,467,428	100.0	594,940,624	100.0	576,451,794	100.0

(4) 経営分析

① 業務比率

項 目		公 式	2年度	3年度	4年度	5年度	備 考
負 荷 率 (%)		$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	58.7	74.9	81.4	82.0	施設の利用度を把握する。 100%に近い程良い。
施 設 利 用 率 (%)		$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	39.2	38.3	38.5	38.9	負荷率×最大稼働率 原則として100%に近い程良い。
最 大 稼 働 率 (%)		$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	66.8	51.1	47.2	47.4	施設の利用の適切性をみる。高い程良いが、 余り100%に近づいても良くない。
有 収 率 (%)		$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	100.0	100.0	100.0	100.0	浄水場から配水された工業用水のうち、料金として 徴収される水量の割合。高い程良い。
配水管使用効率 (m ³ /m)		$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	39.7	38.7	38.9	39.3	導送配水管1m当たりの配水量をみて、その効率 をはかるもの。数値が大きい程利用効率が良い。
固定資産使用効率 (m ³ /万円)		$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産(万円)}}$	5.8	5.8	6.1	6.6	有形固定資産1万円当たりの配水量をみて、その 効率をはかるもの。数値が大きい程良い。
有 1 収 m ³ 水 当 た り 量	給水収益 (円/m ³)	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	51.74	51.97	51.79	53.48	供給単価
	給水費用 (円/m ³)	$\frac{\text{経常費用 - 長期前受金戻入}}{\text{年間総有収水量}}$	128.92	132.90	123.17	129.10	給水原価
職 員 一 人 当 た り	給水量 (m ³ /人)	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	243,430	237,498	238,710	241,083	職員数は定数内の損益勘定所属職員数
	営業収益 (千円/人)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$	12,595	12,344	12,363	12,894	
	有形固定資産 (千円/人)	$\frac{\text{期末有形固定資産}}{\text{損益勘定所属職員数} + \text{資本勘定所属職員数}}$	422,028	406,764	391,639	365,534	

② 資産・負債及び資本構成比率

項目	公 式	2年度	3年度	4年度	5年度	備 考
固定資産構成比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延資産}} \times 100$	66.9	66.5	65.8	63.4	比率が小さい程良いが、公営企業は施設事業でもあり、一般的に高いのが特徴。
固定負債構成比率 (%)	$\frac{\text{固定負債}}{\text{総資本}} \times 100$	7.2	5.5	3.8	2.4	低い程良い。
自己資本構成比率 (%)	$\frac{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}}{\text{総資本}} \times 100$	88.2	90.9	92.4	93.3	50%以上が望ましい。

③ 財務比率

項目	公 式	2年度	3年度	4年度	5年度	備 考
固定比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{繰延収益}} \times 100$	75.8	73.2	71.2	67.9	自己資本で固定資産をどの程度まかなっているかをみる。低い程良い。
固定資産対長期 資本比率 (%)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	70.0	69.1	68.4	66.2	長期適合率 100%以下が望ましい。
流動比率 (%)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	731.6	912.2	893.6	862.2	短期債務に対して応ずべき流動資産が十分にあるかどうかの支払能力を示しており、公営企業では100%以上が望ましい。
酸性試験比率 (当座比率) (%)	$\frac{\text{現金預金} + (\text{未収金} - \text{貸倒引当金})}{\text{流動負債}} \times 100$	731.6	912.2	893.6	862.2	当座資産(現金、預金、未収金)と流動債務の対比で、支払能力をみる。100%以上が望ましい。
現金預金比率 (%)	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	727.7	906.9	888.7	857.6	即時支払能力をみる。 20%以上が望ましい。

④ 資産資本の回転率

項目	公 式	2年度	3年度	4年度	5年度	備 考
自己資本回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本}) \times 1/2}$	0.02	0.02	0.02	0.02	自己資本の利用度をみる。 数値が高い程良い。
固定資産回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産}) \times 1/2}$	0.03	0.03	0.03	0.03	固定資産の利用度を表す。 数値が高い程良い。
減価償却率 (%)	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{減価償却資産} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	3.85	4.00	4.13	4.44	固定資産に投下された資本の回収状況を表す。
流動資産回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) \times 1/2}$	0.06	0.06	0.06	0.06	流動資産の利用度を表す。
未収金回転率 (回)	$\frac{\text{営業収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金}) \times 1/2}$	11.29	10.72	10.73	11.48	未収金の回収の程度を表す。 数値が大きい程未収金の回収速度が良好。

⑤ 損益に関する比率

項目	公 式	2年度	3年度	4年度	5年度	備 考	
総資本利益率 (%)	$\frac{\text{当年度経常損益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \times 1/2} \times 100$	△ 0.84	—	—	0.80	総資本に対する利益の割合を示す。 数値が高い程良い。	
総収益対総費用比率 (%)	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	100.00	100.00	100.00	100.00	収益と費用の相対的な関連性を表す。	
営業収支比率 (%)	$\frac{\text{営業収益}}{\text{営業費用}} \times 100$	29.42	28.50	29.86	29.83	業務活動能率を表す。	
利子負担率 (%)	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{建設改良費等の財源に充てるための企業債・長期借入金} + \text{その他の企業債・長期借入金} + \text{一時借入金}} \times 100$	3.31	3.26	3.12	3.70	資金調達のための負債に対する利子費用の利率の 高低をみるもの。	
経常収支比率 (%)	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	88.08	100.00	100.00	110.37		
企業債元金償還金対減価償却費比率 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{当年度減価償却費} - \text{長期前受金戻入}} \times 100$	2,278.72	1,691.81	1,291.76	1,388.20	起債元金が、その補てん財源である減価償却費に 占める割合を表す。低い程良い。	
料金収入に対する比率	企業債元金償還金 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元金償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$	181.10	137.19	90.07	88.50	企業債発行額が事業規模に適正かどうかを判断する 基準で、低い程良い。
	企業債利息 (%)	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{料金収入}} \times 100$	14.07	9.65	6.41	4.03	〃
	企業債元利償還金 (%)	$\frac{\text{建設改良のための企業債元利償還金}}{\text{料金収入}} \times 100$	195.17	146.84	96.48	92.52	〃
	職員給与費 (%)	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{料金収入}} \times 100$	65.91	67.36	58.03	56.03	

○各算式にて用いた用語の内容は次のとおりである。

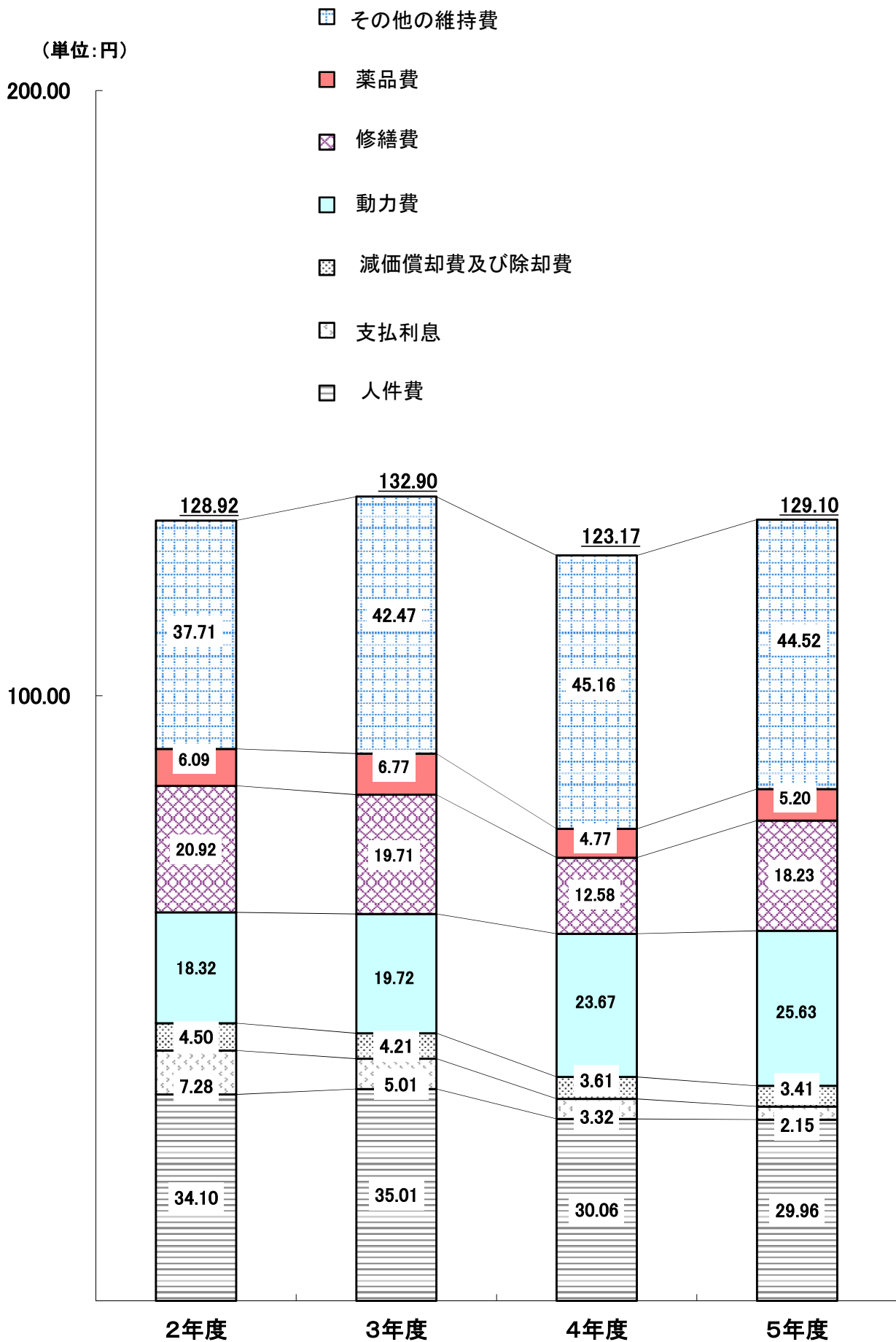
- | | |
|--|------------------------------|
| ① 減価償却資産 = 有形固定資産 + 無形固定資産 - 土地 - 立木 - 建設仮勘定 - 電話加入権 | ⑤ 営業費用 = 事業費用 - 事業外費用 - 特別損失 |
| ② 自己資本 = 資本金 + 剰余金 + 繰延収益 | ⑥ 営業収益 = 事業収益 - 事業外収益 - 特別利益 |
| ③ 総資本 = 資本 + 負債 | ⑦ 経常収益 = 事業収益 - 特別利益 |
| ④ 職員給与費 = 給料 + 手当 + 法定福利費 + 賞与等引当金繰入額 + 退職給付費 - 児童手当 | ⑧ 経常費用 = 事業費用 - 特別損失 |

(5) 工業用水道給水原価

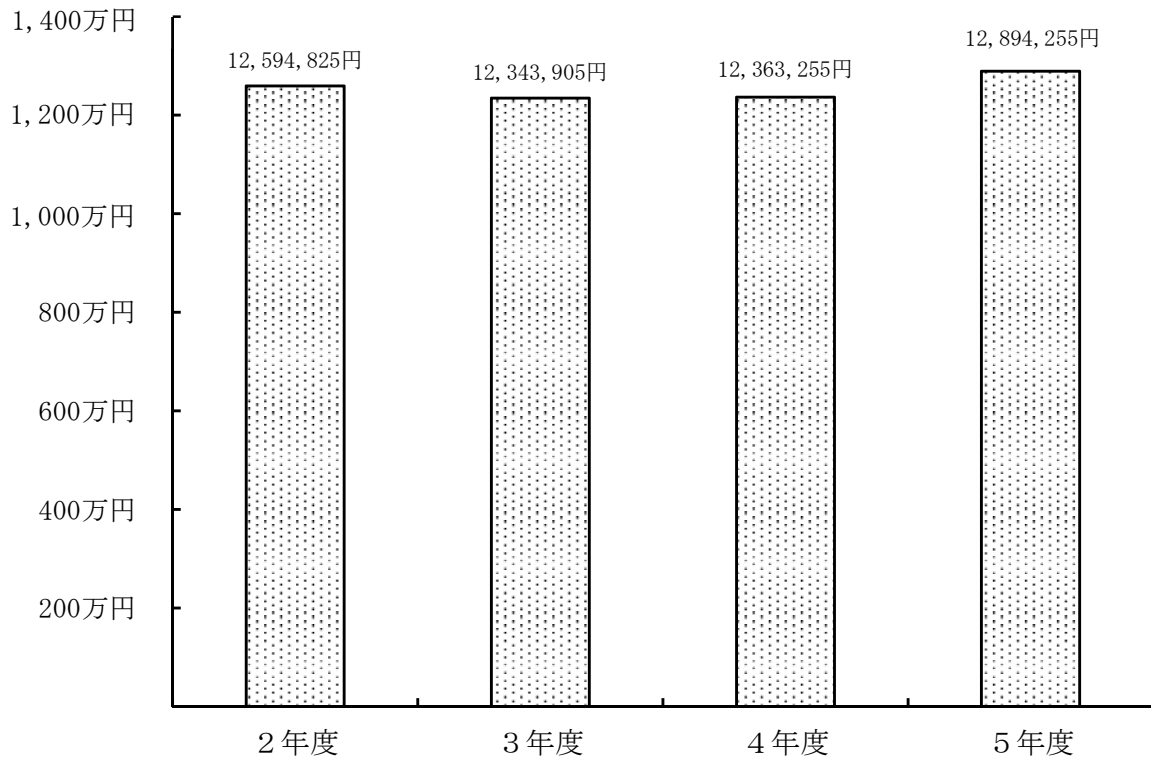
区 分	令和2年度			令和3年度		
	原 価 (円)	1 m ³ 当たり (円)	比率 (%)	原 価 (円)	1 m ³ 当たり (円)	比率 (%)
人 件 費	8,301,241	34.10	26.5	8,314,926	35.01	26.3
支 払 利 息	1,771,842	7.28	5.6	1,190,726	5.01	3.8
減価償却費及び除却費	1,095,300	4.50	3.5	1,000,300	4.21	3.2
動 力 費	4,459,419	18.32	14.2	4,683,504	19.72	14.8
修 繕 費	5,093,214	20.92	16.2	4,680,539	19.71	14.8
薬 品 費	1,481,600	6.09	4.7	1,607,800	6.77	5.1
そ の 他 の 維 持 費	9,179,773	37.71	29.3	10,085,927	42.47	32.0
計	31,382,389	128.92	100.0	31,563,722	132.90	100.0
販 売 量 (m ³)	243,430	—	—	237,498	—	—
給 水 原 価 (円/m ³)	128.92	—	—	132.90	—	—
給 水 収 益 (円)	12,594,825	—	—	12,343,905	—	—
料 金 単 価 (円/m ³)	51.74	—	—	51.97	—	—

区 分	令和4年度			令和5年度		
	原 価 (円)	1 m ³ 当たり (円)	比率 (%)	原 価 (円)	1 m ³ 当たり (円)	比率 (%)
人 件 費	7,174,478	30.06	24.4	7,223,557	29.96	23.2
支 払 利 息	792,936	3.32	2.7	518,870	2.15	1.7
減価償却費及び除却費	861,175	3.61	2.9	821,424	3.41	2.6
動 力 費	5,651,116	23.67	19.2	6,178,677	25.63	19.9
修 繕 費	3,002,480	12.58	10.2	4,394,550	18.23	14.1
薬 品 費	1,139,200	4.77	3.9	1,254,600	5.20	4.0
そ の 他 の 維 持 費	10,779,850	45.16	36.7	10,731,555	44.52	34.5
計	29,401,235	123.17	100.0	31,123,233	129.10	100.0
販 売 量 (m ³)	238,710	—	—	241,083	—	—
給 水 原 価 (円/m ³)	123.17	—	—	129.10	—	—
給 水 収 益 (円)	12,363,255	—	—	12,894,255	—	—
料 金 単 価 (円/m ³)	51.79	—	—	53.48	—	—

工業用水道給水原価(1m³あたり)推移

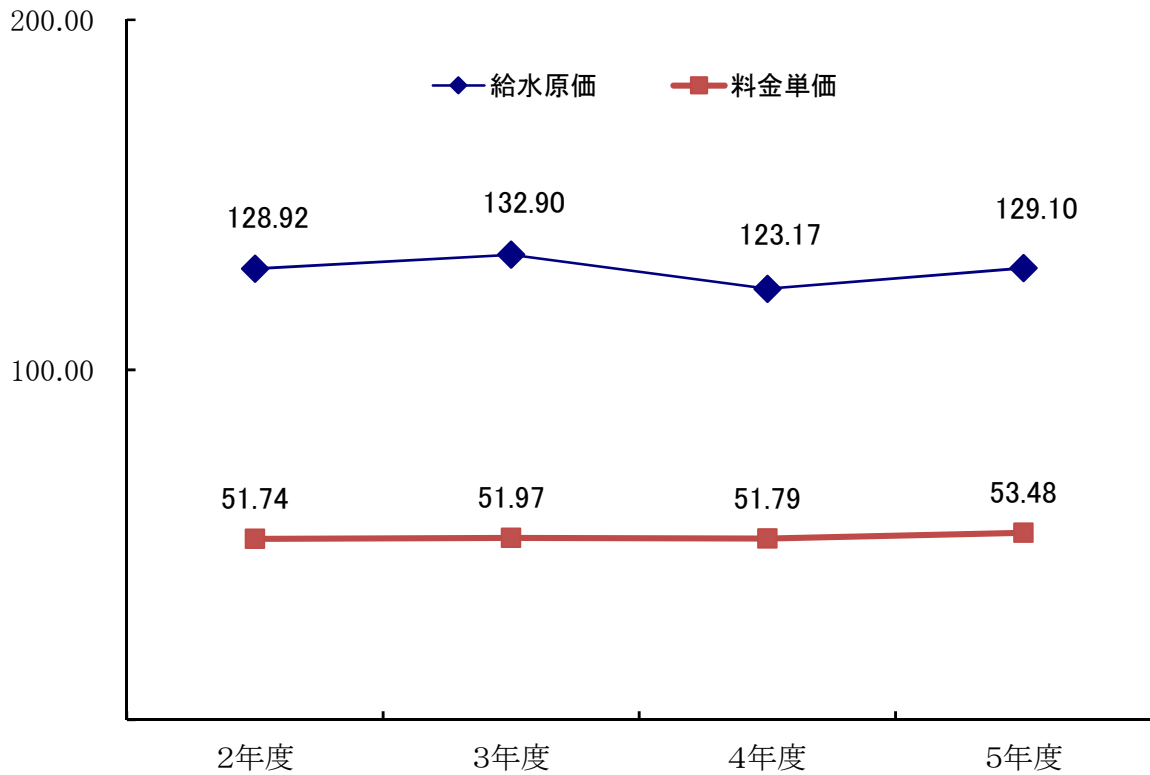


工業用水道料金収入（給水収益）の推移

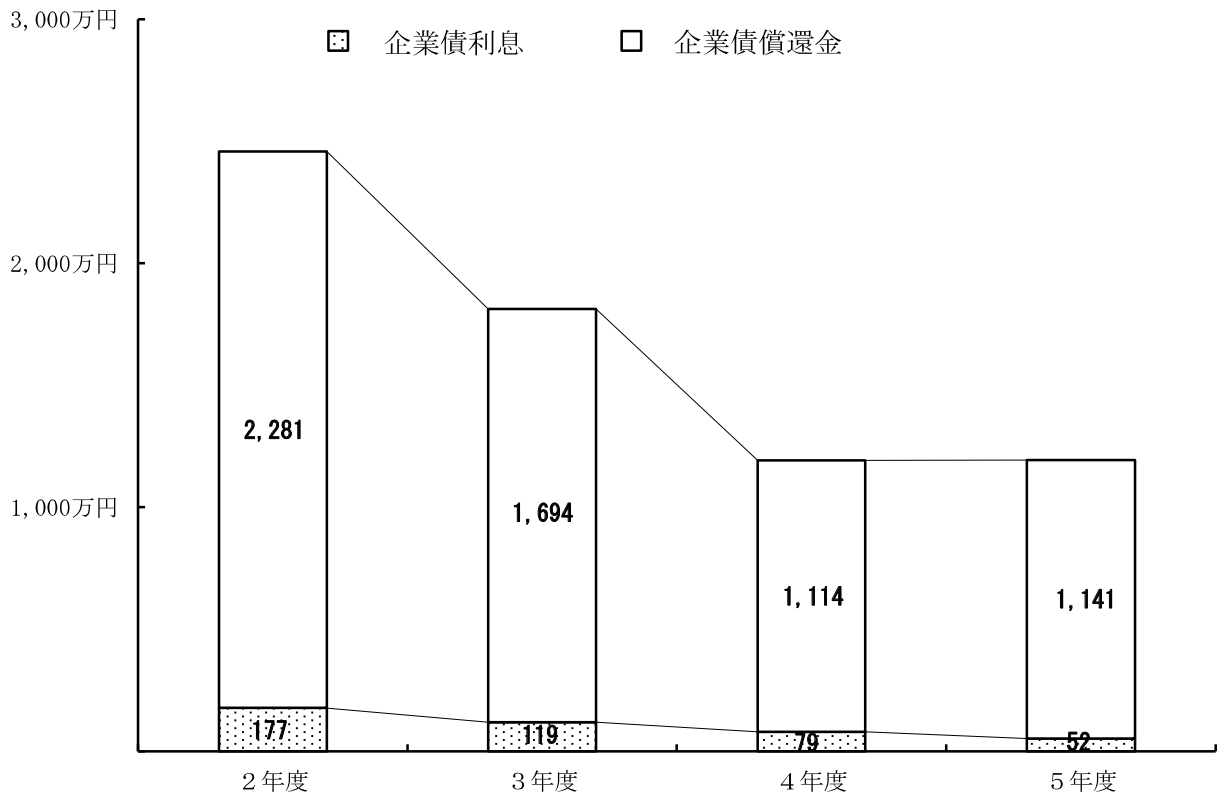


(単位:円)

給水原価及び料金単価の推移(1m³あたり)



企業債利息及び企業債償還金の推移



企業債残高の推移

